

【種別】

用語（？）

【初出】

I巻

【解説】

本編の地の文や台詞に度々出てくる言葉。

大抵は“[紅世の徒](#)”に人々が密かに喰われている事態を表しているが、実は現状認識を相手に強いたり、それがどうしようもないことだと示す、暗喩のような意味合いも持っている。

さらには、親から子へ、子から更にその子へと繋がっていく人間の命の営みも、もう一つの「この世の本当のこと」である。

【コメント】

[アニメ版](#)から語られていた。

二十世紀初頭には[[革正団](#)] [サラカエル](#)一派が人間たちに知らしめようとしていた。

最終巻で『[無何有鏡](#)』が完成したことにより変わった。